じちかい

会　報　第　16　号
令和４年１月１日
西条市連合自治会

謹賀新年

皆様方には輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より、西条市連合自治会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。本年も自治会活動にご協力の程よろしくお願いいたします。

西条市連合自治会　役員一同

西条市連合自治会役員紹介

地域のことは何でも相談して下さい！

会長　難波江　覚
（東予支部長）

副会長　徳増　稚養一
（西条支部長）

副会長　越智　敏夫
（丹原支部長）

副会長　能智　正雄
（小松支部長）

会計　阿蘇　浩造
（西条支部）

監事　森川　厚
（東予支部）

監事　檜垣　幸男
（小松支部）

★自治会へ加入し地域の「絆」を深めませんか

自治会とは、地域における身近な問題を協働で解決し、会員相互の親睦を図り、住みよいまちづくりを築くことを目的とした自主的な団体です。入会を希望される場合は、お近くの自治会役員までお問合せください。

≪自治会に加入することによって≫
・地域行事などの暮らしに関わる情報を定期的に入手することができます。
・幅広い世代の方と知り合うことによって充実した地域生活を送ることができます。
・大きな災害が起きた時のスムーズな救助活動や支援は地域住民のつながりによって発揮されます。

★西条市の自治会加入率　（令和３年６月１日現在）

加入率向上のために頑張っています！

地区名	自治会数	総世帯数	自治会加入世帯数	自治会加入率
西　条	352	26,721	14,718	55.08％
東　予	121	13,782	9,242	67.06％
丹　原	32	5,262	3,611	68.62％
小　松	27	3,842	2,410	62.73％
西条市計	532	49,607	29,981	60.44％

各地区自治会の取り組み紹介

大町地区（大町連合自治会）の取り組み

大町連合自治会長　塩出 將太郎（まさたろう）さん、大町地域づくり協議会の皆さんに聞く

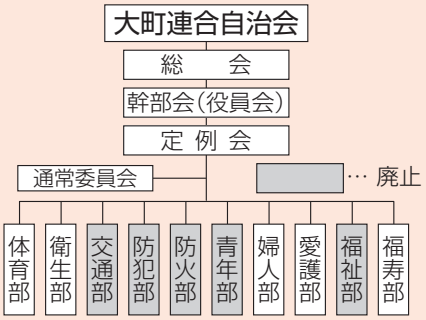
「自治会未加入者の増加や事業のマンネリ化をなんとかせんといかんと思ってた」と大町連合自治会（以下、連合自治会）会長の塩出さん。自治会未加入に関する検討会を立ち上げるものの思うような成果は出ませんでした。そのような時に市が主催する地域づくり講演会に参加。講演会で話し合いや人口減少時代を見据えた地域づくりの重要性に気が付き、市が推進する地域づくりモデル地区として取り組みをスタートしました。

様々な課題を検討していく中で、地区内の自治会役員の皆さんの意見を座談会で聞いてみると「会合が多い、部が多い、役員は大変」という意見が多く、塩出さんは驚いたそうです。その改善策として連合自治会の専門部を１０から５に減らし組織体制のスリム化を図りました。その後、自治会だけでなく大町で活動する様々な団体や企業が一丸となって活動する組織づくりに着手。令和元年７月に「大町地域づくり協議会」（以下、協議会）を設立し、「さぁ、これから」という時にコロナ禍に。

今後の目標は「協議会の事業として梅まつりを復活させ、賑やかに開催したいね」、「自治会としては加入率を向上させたいけど、まずは協議会で知恵を出し合って地域の方を向いてくれる人を増やしたい」とのこと。「『大町に住む１万人全員が協議会の会員』という気持ちで、より良い大町を次世代にバトンタッチしていきたいね」と未来を見据えて語ってくれました。

塩出將太郎さん（左下）（連合自治会長・協議会長）
大町地域づくり協議会役員の皆さん
※撮影のためにマスクを外しています。

◆組織のスリム化を実現



◆ホームページを開設

協議会は令和３年３月にホームページを開設。大町の様々な情報発信に力を入れている。

多賀地区（多賀連合自治会）の取り組み

多賀連合自治会長　越智 教文（みちふみ）さん、多賀・未来づくり準備会長　一色 和成（かずしげ）さんに聞く

「多賀連合自治会の特徴は、北条新田、北条連合、三津屋連合の自治会で構成され、それぞれの自治会がしっかりしていて活発に活動しているんよ」と越智さんと一色さんは話します。５，５００人余りを有する多賀地区は、スーパー、病院、ＪＲの駅もあり、比較的恵まれた地域です。

しかし、近年まで行っていた演芸大会や盆踊りが取りやめとなった自治会も出てきました。また令和元年８月に開催されたタウンミーティングでは、地域が抱える課題が改めて浮き彫りに。「地域づくりを始めたきっかけは、タウンミーティングですね。地域づくりの必要性を感じ、話し合いを始めないと手遅れになると思った」と一色さん。

コロナ禍で集まることがままならない状況が続きましたが、令和３年１０月には「多賀・未来づくり準備会」が発足。自治会を中心とした各種団体が垣根を越えて繋がることで、色々なアイデアが生まれています。一色さんは「地域行事の見直しについて、みんなで話し合いを重ねることに大変意義があります」と話してくれました。

越智さんは、「高齢者のゴミ出しや墓地の管理、空き家問題など、今まで当たり前に出来ていたことが難しくなってきた時代。地域が抱える課題を自治会も一緒になって考えていきたいですね」と語ってくれました。

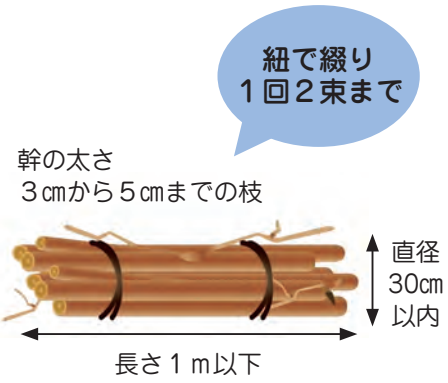
近年の自然災害の多発で、自治会の果たす役割は益々重要となっています。最後に「日頃から顔の見える関係性を築くことが、災害時に尊い命を救うことができる」とお二人は力強く答えられました。

一色和成さん（準備会長）　越智教文さん（連合自治会長）

ごみの分別 Q＆A

Q１　剪定した枝の捨て方は？

○　葉と幹の太さが３cm未満の枝は、**「もえるごみ」**です。
○　幹の太さが３cmから５cmまでの枝は、**葉は「もえるごみ」**で、葉を除いた枝は長さを１m以下に揃え直径３０cm以内の束にしたものを**一回のごみの日に２束まで**出すことができます。
○　幹の太さが３cmから５cmまでの枝（長さ２m以下）が大量に出た場合は、週１回、軽トラック１台分程度の量までなら**道前クリーンセンター**に持ち込んで処理することができます。
○　幹の太さが５cm又は長さ２mを超える枝が大量に出る場合は、**民間業者**に持ち込んで処理してください。



Q２　炊飯器の捨て方は？

市指定ごみ袋に入る大きさの炊飯器は、電池とコードを除いて**「もえないごみ」**です。
コードは、５０cm以下の長さに切り、「もえないごみ」で出してください。
指定ごみ袋に入らない場合は「粗大ごみ」となります。

Q３　食器（陶磁器）の捨て方は？

茶碗２～３個程度の食器（陶磁器）は、**「もえないごみ」**です。大量にある場合は、事前手続きを済ませたうえで**最終処分場**に持ち込んで処理してください（※１）。

Q４　植木鉢の捨て方は？

プラスチック製の植木鉢は、市指定ごみ袋に入る大きさであれば**「もえないごみ」**、袋に入らないものは**「粗大ごみ」**です。
素焼き等焼き物の植木鉢は、「埋め立てごみ」であるため、ごみステーションでは回収できません。事前手続きを済ませたうえで**最終処分場**に持ち込んで処理してください（※２）。

（※１、２）
最終処分場へ持ち込むための事前手続場所：
市役所本庁衛生施設課又は各総合支所市民福祉課

Q５　散水ホースの捨て方は？

ホース部分がビニールだけのものは**「もえるごみ」**、金属が入っているものは**「もえないごみ」**です。どちらのホースも５０cm以下に切って市指定のごみ袋に入れて出してください。散水ホースのリール部分は「粗大ごみ」となります。

Q６　ガラスびんやペットボトルを袋に入れて出すと回収されませんでした…

ガラスびんやペットボトルは、ごみステーションに置かれる青い箱又はネットに入れてください。このとき、買い物袋等に入ったまま回収用の箱またはネットへ入れた場合は回収されません。ペットボトルがネットに入りきらない場合は、「もえないごみ袋」に入れて出してください。

Q７　スプレー缶は「もえないごみ」ではないの？

スプレー缶は「資源ごみ」の日に回収しています。ガラスびんの回収箱と一緒に置かれるスプレー缶用の回収箱に、穴を開けてスプレー缶を出してください。

※　西条市では、ごみの情報をスマートフォンのアプリで配信しております。
ごみの分別を50音順で確認することもできますので、登録をお願いします。
西条市ごみ分別アプリ「さんあ～る」のQRコードはこちら→
【お問合せ先】西条市衛生課衛生係　TEL：0897－52－1338

App Store からダウンロード
GET IT ON Google Play

★西条市連合自治会の取り組み

■西条市連合自治会総会を開催しました

令和３年７月５日、西条市役所において西条市連合自治会総会を開催しました。議事の審議のほか、自治会功労者への表彰（会長表彰、会長感謝状）が行われました。

○会長表彰　おめでとうございます
（自治会長等に１０年以上在職）

佐々木　千栄
（大町）

塩　﨑　　巧
（神戸）

木　内　　武
（多賀）

一　色　　守
（多賀）

○会長感謝状　おめでとうございます
（自治会長等に５年以上在職）

青野　昇司（神拝）	伊藤　久一（大保木）
石川　秀朗（神拝）	越智　伸一郎（多賀）
髙橋　章哲（大町）	吉本　成壽（小松）
西坂　　壽（神戸）	渡部　菊秀（徳田）
森　　達敏（神戸）	佐伯　敏正（徳田）
近藤　尋由（氷見）	福田　昭芳（田野）
佐伯　康晴（氷見）	佐伯　保親（中川）
森　　隆夫（氷見）	

■不動産フェアで自治会の加入をPRしました

令和３年11月７日、周桑宅建協会の不動産フェア「はとマルシェ in 周桑」に参加し、自治会加入ＰＲのリーフレットと花の種を配布しました。

皆さん、自治会に加入し、一緒に住みよいまちづくりに取り組みませんか。

～じちかい川柳～

リモートで週末集う三世代　山之内　さち枝

日本の国にどう防ぐ事故と人災　新　名　小夜子

盛り土（つち）の軽さに泣いた土石流　金　子　一　孝

ボランティア楽しい話題携える　菅　　伊佐子

防災も日頃訓練ものを言う　真　田　由美子

ポイ捨ても陰の支えで美しく　佐　山　富　子

ゴミ減らし青い地球を取り戻す　寺　田　嘉　伸

公民館今日も賑やか地域の輪　佐　伯　明　美

自治会は互いに助けワンチーム　曽我部　みち子

両隣優しさ包むお付き合い　田　口　恒　子

ふる里と自慢が出来るこの地域　河　渕　カズ子

一杯の麦茶に和む村掃除　日　野　淳　子

編集後記

会報「じちかい　新年号（第１６号）」をお届けします。今後も情報を積極的に発信していきたいと考えておりますので自治会活動について、ご理解・ご協力を賜わりますようお願いいたします。

<編集>西条市連合自治会広報部
西条市連合自治会事務局
（西条市役所市民協働推進課内）
ＴＥＬ：０８９７－５６－５１５１（内線２４５９）

西条市連合自治会広報部メンバー
※撮影のためにマスクを外しています。

過去の会報や自治会の情報はこちら▶